



# ほうき 議会だより

第**59**号  
2019年  
10月25日



運動会 (ふたば保育所)

## おもな内容

- 平成30年度一般会計決算…………… 2～3ページ
- 令和元年9月定例会…………… 4ページ
- 議案・請願・陳情の賛否…………… 5ページ
- 町民と語る会概要報告…………… 6ページ
- 広報委員会行政調査報告…………… 7ページ
- 一般質問…………… 8～15ページ
- 議会の虫めがね、編集後記…………… 16ページ

## 人の動き

	令和元年10月1日現在	前年同月比
人口	<b>10,915</b> 人	△72人
(男)	<b>5,227</b> 人	△21人
(女)	<b>5,688</b> 人	△51人
世帯数	<b>3,847</b> 世帯	20世帯

## 平成30年度一般会計決算を認定（令和元年9月定例会）

平成30年度一般会計決算のあらまし

**歳入** 85億3,900万円  
前年度対比14.7%増

**歳出** 82億8,500万円  
前年度対比14.9%増

### 主な事業

※ 実質単年度収支は1,100万円の黒字

（翌年度繰越財源調整後）



本庁舎及び農村環境改善  
センターの長寿命化  
改修事業



給食センター改修事業  
アレルギー室を増築

## 平成30年度予算決算等常任委員会（決算）審査意見

### 平成30年度決算に関する審査意見

- 1 お試し住宅にインターネット環境を整備し有効活用を図られたい。
- 2 有線テレビ放送事業において光化促進事業整備工事のことも勘案し、他町村の動向を見ながら、設備貸付料の改定交渉を検討されたい。
- 3 介護支援ボランティアの養成は、要介護者の住宅生活の支援体制には大切なものである。各集落、各エリアで介護支援の充実が図られるよう、より一層の介護支援ボランティアの養成を望むものである。
- 4 次の事項について鋭意、進捗され、その成果を挙げられたことを高く評価する。
  - (1) 本庁舎改修事業を継続事業として着手し、長寿命化並びに事務機能向上等が図られ、住民サービスの基盤となり、庁舎のLED化など高機能並びに安定性が確保されたこと。
  - (2) 大山ハム(株)の工場進出に伴う水利調整等の対応を行い、約19,000平方メートル

ルの町有地を譲渡し、新しい企業誘致展開がなされたこと。

- (3) コミュニティスクール（全小中学校）の運営協議会体制が整い、学校・保護者・地域住民の信頼運営体制が整ったこと。
- (4) 町立保育所において次の投資的事業が実行され保育環境の更なる充実、向上が確保されたこと。
  - ・溝口保育所の長寿命化改修事業
  - ・ふたば保育所増改築事業（繰越明許事業を含む）
  - ・こしき保育所園庭拡張事業



# 平成30年度事業を現地確認

保育施設の増改築・長寿命化を中心に予算が執行されました



# 令和元年 9月定例会

## 一般会計補正予算（第2号） 9,100万円を増額し補正後総額77億8,000万円に!

**歳入** 地方交付税を3,000万円増額し、総額30億7,400万円に

**歳出** 岸本保健福祉センターの空調改修設計委託料 700万円（新規計上）  
プレミアム付商品券事業費補助金 1,200万円（新規計上）



ワーキングコミュニティスペース（溝口分庁舎）

### 議決した主な議案

工事請負契約の変更契約  
について（溝口分庁舎等  
改修工事及びワーキング  
コミュニティスペース施  
設改修工事）  
・外壁タイルの補修増工  
700万円増額し、8  
300万円に変更

### 令和元年度一般会計 補正予算（第2号）

9100万円を増額し  
補正後の予算総額を77億  
8000万円とするもの。  
・地方交付税3千万円を  
増額し、補正後総額は32  
億7400万円

子ども・子育て支援臨  
時交付金  
3000万円  
・住宅団地売却収入  
300万円  
・前年度繰越金（純繰越  
分）  
2億2700万円  
・繰入金  
1億5200万円減額  
・町の借入金  
5500万円減額  
（減額後10億7700万円）

### ＜歳入の主なもの＞

・岸本保健福祉センター  
の空調改修設計委託料  
700万円  
・プレミアム付商品券事  
業費補助金  
1200万円  
・町営住宅解体撤去及び  
災害時等緊急対応住宅改  
築工事  
2200万円  
・保育所広域入所事業  
500万円

・子ども・子育て支援臨  
時交付金  
3000万円  
・住宅団地売却収入  
300万円  
・前年度繰越金（純繰越  
分）  
2億2700万円  
・繰入金  
1億5200万円減額  
・町の借入金  
5500万円減額  
（減額後10億7700万円）

伯耆町議会の9月定例会は、さる9月5日から9月20日までの16日間を会期として開会。2日目に行われた一般質問は、7人の議員が町政について質問。その他、工事請負契約の変更契約議案をはじめ、一般会計補正予算や各会計の補正予算なども審議、議しました。また、議会最終日には、陳情の採決や常任委員会の調査報告を行いました。

## みんなが知りたい 全員協議会

全員協議会は、さる9月2日と19日の2日間、開催。その概要は、次のとおり。

●大山ハム(株)大山ファクトリーの進出状況について。

伯耆町須村に建設予定の工場建設について、次のような報告を受けた。  
(1)投資額 約30億円  
(2)令和2年6月頃建設着工  
(3)操業開始は、令和3年4月、雇用計画 約60名



大山ファクトリー(イメージ)、大山ハム(株)

●高齢者への安全運転支援装置設置促進補助金の新設

(1)アクセルとブレーキの踏み間違い防止対策等  
(2)75歳以上の高齢者で町税の滞納のない人  
(3)県補助(3万円)と合わせて補助対象経費の2分の1(町の補助額2万円が上限)  
●ドライブレコーダーの購入設置補助  
県の補助額(3千円)と合わせて補助対象経費の2分の1(町の補助額上限2千円)

主な議案の採決結果 (○賛成 ×反対)

9月20日

議案番号	件名	議員名 (議席番号順)												
		長谷川満	森下克彦	杉本大介	乾裕	杉原良仁	一橋信介	渡部勇	勝部俊徳	細田栄	大森英一	幅田千富美	永井欣也	幸本元
55	令和元年度伯耆町一般会計補正予算 (第2号)	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	-
56	令和元年度伯耆町国民健康保険特別会計補正予算 (第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
57	令和元年度伯耆町後期高齢者医療特別会計補正予算 (第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
58	令和元年度伯耆町水道事業会計補正予算 (第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
59	平成30年度伯耆町一般会計歳入歳出決算認定について	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	-
60	平成30年度伯耆町町営公園墓地事業特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
61	平成30年度伯耆町住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算認定について	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	-
62	平成30年度伯耆町地域交通特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
63	平成30年度伯耆町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	-
64	平成30年度伯耆町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	-
65	平成30年度伯耆町水道事業会計決算認定について	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	-
66	平成30年度伯耆町丸山地区専用水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	-
67	平成30年度伯耆町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	-
68	平成30年度伯耆町小規模集合排水事業特別会計歳入歳出決算認定について	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	-
69	平成30年度伯耆町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	-
70	平成30年度伯耆町浄化槽整備事業特別会計歳入歳出決算認定について	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	-
71	平成30年度伯耆町索道事業特別会計歳入歳出決算認定について	○	×	○	○	○	○	×	○	○	○	×	○	-
72	令和元年度伯耆町一般会計補正予算 (第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-

表決は、幸本議長を除く出席議員で行います。

みなさんからの請願・陳情は次のとおりとなりました

9月定例会で審査した請願・陳情の委員会、本会議での採決結果

件名	議員名 (議席番号順)											結果		
	長谷川満	森下克彦	杉本大介	乾裕	杉原良仁	一橋信介	渡部勇	勝部俊徳	細田栄	大森英一	幅田千富美		永井欣也	幸本元
辺野古新基地建設の即時中止と、普天間基地の沖縄県外・国外移転について、公正に解決するべきとする意見書	×	○	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	-	不採択
辺野古新基地建設の即時中止と、普天間基地の沖縄県外・国外移転について、公正に解決するべきとする意見書	×	○	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	-	不採択
「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の提出を国に求める請願書	×	○	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	-	不採択
核兵器禁止条約の日本政府の署名と批准を求める意見書採択についての陳情	×	○	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	-	不採択
米軍普天間飛行場の辺野古移設を促進する意見書に関する陳情	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	-	不採択
要望書 (建設工事の電気工事を地元業者に分離発注を求める趣旨)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	採択
要望書 (機械設備工事を地元の管工事業者に優先的に指名を求める趣旨)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	採択
教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための意見書	×	○	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	-	不採択

表決は、幸本議長を除く出席議員で行います。

# 第2回「町民と語る会」開催報告

今回のテーマ：町政に対する議会の対応等、議会に対する意見



令和元年8月23日（金）19：30～ 溝口公民館

本町議会は、議会と町民との間の距離を縮めて議会を身近に感じていただくべく、年に1回、議会報告及び意見交換会を開催するように取り決めていきます。

8月23日（金）には溝口公民館の大会議室で、第2回となる「町民と語る会」を開催しました。

**持ち帰った質問等に対する執行部（担当課）からの回答**

**参加者からの質問**

自宅近隣の危険家屋のその後の対応はどのようになっているのか。

**回答** 周辺住民からの要請により調査を行い、特定空き家に認定済み。今

後、所有者から必要な措置が取られない場合は勧告段階となり、その後は1年以内程度で法的手続きを取り、行政代執行も想定。

**参加者からの発言**

大坂地区の側溝へのフタ設置が進められているが、さらなる整備をしてほしい。

**回答** これまでの経過もあり、修繕の予算内で計画的に進めている。

**参加者からの発言**

地域の除草ボランティア作業で使う除草剤費用の補助をしてもらえないか。

**回答** 補助制度はない。ただし、いろいろなケースがあるので、まずは担当課に相談してほしい。

**参加者からの発言**

大平原地区の町道において、樹木の枝による大型車の通行障害があるので、対処できないか。

**回答** 本来は所有者責任

を原則とするが、現場を確認し何らかの対応をする。

**その他、町民から頂いた主なご意見**

- ・議員は町内行事にも参加して、顔を見せてほしい。
- ・女性が議会に出やすい環境を作ってほしい。
- ・身近に感じる議会になってほしい。

町民の皆様、ご参加いただきまして誠にありがとうございました。皆様の貴重なご意見を参考に、これからも伯耆町発展のために、議員一同、まい進してまいります。今後とも多数のご参加をお待ちしております。

## 伯耆町議会議員と語る会を開きませんか

伯耆町議会による「議会報告及び意見交換会」は、集落自治会・10人以上の方で構成する団体やグループからの要請があれば、開催できます。

ご希望の方は、議会事務局までお問い合わせください。



議会広報常任委員会調査報告

議会広報の編集と作成技術向上及び有効な情報発信方法等について

調査期間 令和元年7月8日から同年7月10日まで（3日間）
調査先 国立国会図書館（東京都）、全国町村議会広報クリニック（東京都）
一般財団法人 地域活性化センター（東京都）
調査委員 長谷川 満、乾 裕、勝部 俊徳、一橋 信介、永井 欣也、杉本 大介

全国町村議会広報クリニック

調査の概要

①全国町村議会議長会主催の広報クリニックに参加した。

講師 長岡 光弘氏

（グラフィックデザイナー）

②講義：議会広報誌のクリニック視点

(1) 議会広報誌としての編集視点。議会の担う役割が紙面に訴求されているか。

目指す広報誌の編集方針が住民に伝わる編集か。

(2) 情報把握ができる紙面構成か。情報の集約を図った紙面構成が施されているか。

関連情報の検索が容易に図れる編集工夫が施されているか。



(3) 住民に伝わる編集か。情報を容易に伝える。

賛否だけでなく議案内容もわかる編集に。

本文の一文が長過ぎず、情報の理解を高めた編集。

一般質問は質問・答弁の要点を整理。

(4) 住民に情報が伝わる紙面表現か。

視線誘導、文字組み、目移りさせない、情報区分が伝わる紙面表現をする。

国立国会図書館・ICT活用のネットワーク連携について



◎ ICT活用にてデジタル図書

連携

■ 担当

総務部総務課 課長補佐 (広報担当) 奥村 牧人氏

国立国会図書館は、全国で発行・出版された本が全て管理されている。デジタルで保管してある図書などをもとに

当町とのインターネットを介した遠隔図書連携を学ぶ。

当町ホームページ、議会のよりの検索などでの閲覧の仕方などを体験。

一般財団法人 地域活性化センター：全国の広報事例

一般財団法人 地域活性化センター：全国の広報事例

■ 担当 広報室長 島田 千鶴氏

地域活性化センター発行の情報誌「地域づくり」をもとに、編集作成の参考にさせて頂くと同時に、全国の自治体情報が集まっている先進事例を学ぶ。



調査のまとめ

〈クリニック〉

・開かれた議会、「住民と歩む議会」が感じられる編集を心がけ、伝わる町政の情報提供をするための紙面内容構成について学習することができた。

学んだことを早急に当議会広報にも反映させるよう、委員会で全体構成の訂正イメージ案を提出し、令和の時代に合わせた紙面構成に進化させていく。

〈国会図書館〉

・情報連携で、興味深く読めるデジタル媒体の保存活用については重要なことと受け止めた。

〈活性化センター〉

・自治体行政・議会広報の戦略的広報および、企画特集などを通して広範囲に読者層を広げる。

# 一般質問 町政を問う！

一般質問とは、議員が町長等（執行機関）に対し、町の行政全般について執行状況や将来の方針等を問うものです。

## 基本ルール

- ・質問要旨は事前に通告
- ・持ち時間は1人60分
- ・町行政に関係があるもの

7人の議員が一般質問を行いました。

伯耆町では1人60分の制限時間内であれば、質問の回数に制限はありません。  
臨場感ある本会議場での傍聴をお待ちしています。

令和元年9月6日 実施

ページ	主な質問事項	質問議員
9	1.高齢運転者の安全対策及び安全運転支援の取り組み 2.運転免許証自主返納支援制度	乾 裕 
10	1.プラスチックごみの処理 2.社会生活の中での引きこもりの状況	森下 克彦 
11	1.大山ガーデンプレイスと大山望の設置目的と現状 2.みぞくちテラノの募集状況 ほか	細田 栄 
12	1.上下水道料金の福祉減免制度の創設 2.学校給食のパンの原材料に国産小麦を ほか	幅田千富美 
13	1.認知症対策	永井 欣也 
14	1.持続可能な開発目標「SDGs(エスディーゼズ)」の認識と取り組み 2.望まない受動喫煙を防止するための取り組み	杉本 大介 
15	1.小学校5,6年生の「教科担任制」への取り組みに着手し、「教育の質の向上」を 2.身体障がい者の行政面での実雇用者の拡大を図れ	勝部 俊徳 

スマートフォンなど携帯電話で一般質問の映像が流れるyoutubeの二次元バーコードはこちらです。



# 町政を問う

## 高齢運転者の安全運転支援の実施を

**町長** 町として本議会に追加の補正予算を提案したい



乾 裕

**急発進防止装置の整備に  
対する助成制度について**

**乾** 近年、交通事故の発生件数は減少傾向にあるが、75歳以上の高齢運転者の死亡事故の割合は高まっており、ブレーキペダルの踏み間違いなどの単純なミスによる事故も目立つ。このたび県でもドライブレコーダー購入助成(対象は一般県民の自家用車)と急発進防止装置の整備助成は75歳以上のドライバーを対象とした制度を創設した。しかし、これでは不十分と考える。本町にあつては県の上限3万円に上乗せした支援策を実施されたい。

**町長** 県で「支え合い交通安全総合対策事業」に項目追加の形で実施され

## 運転免許証自主返納支援制度の拡充を

**企画課長** 本事業は現状を維持したい

るものであり、妥当と判断している。町として、基本的には上乗せも含めて支援を検討しており、なるべく早い措置が望ましいため本定例会において追加の補正予算として提案させていただきたい。

**運転免許証自主返納支援制度について**

**乾** 運転に不安を感じる等の理由で運転免許証を

自主返納された場合本町では、町デマンドバス又は日の丸バスの回数券三千円分(1枚)のいずれかを選んで一人一回限りの交付がされる。

**企画課長** 客観的な把握方法がなく数名の方に聞き取りをした結果「利用している」との回答を得ていることから概ね利用されていると思われる。

**町長** 現在のデマンドバスは町内212カ所にバス停を配置している。介護等の必要な方が利用する外出支援サービスを今後も維持しなければならぬ。県が新交通体系を検討中である。タクシー補助を本事業に乗せられるかは非常に問題となる。

**企画課長** 制度が始まったH26年からH30年までに66名。今年度は8月末で16名。

**企画課長** 本町では、免許等を持っていない方に対して、生活交通手段の確保策として、デマンドバスや外出支援サービスを行っている。70歳以上の方は通常200円のところを100円で乗りいただくにしている。このようなことから免許証返納支援制度について現状を維持したい。



本町のデマンドバス  
(バス停は町内212ヶ所を網羅している)

**乾** 利用者の利便性を考慮し、もう一段追加的な措置として、町内を限定としたタクシーの回数券を発行し、返納者の選択



免許証自主返納支援制度で交付されるバス回数券

# 町政を問う

## プラスチックごみの最終処理方法は

### 町長 現行での処理方法が適当



森下 克彦

# 引きこもりの対策は

町長・教育長

対策を講じている

**森下** プラごみが海洋汚染するなど環境問題化しているが、当町の家庭から排出されるプラごみ（ペットボトルは除く）の最終処理方法は、

**地域整備課長** ①硬質プラは破碎後、半分は埋め立て、半分は焼却②軟質プラと発泡スチロールは、固形燃料化され、企業施設のボイラー等の燃料となる。

**森下** プラごみの分別収集方法が、各市町村で異なっているとの新聞報道があったが、この報道を受けての感想は。

**町長** 処理施設の実態、処理方法の内容によって分別方法が異なるのは事実。現有処理施設の態様などによる処理の違いとなっている。

### 引きこもり対策

**森下** 社会環境の変化の中、引きこもり状態とな

る人が増加している。国が公表している平成30年の調査結果における当町の実態は。

### 健康対策課長

国の指針に基づき調査した結果で、15歳以上59歳までの方のうち21人がその状態と報告しており、不登校、勤務不能、病気など要因は複数にわたる。

**森下** 引きこもり問題に対する対応策は。

**町長** 外に出掛けられるような支援、県が設置している相談拠点へのつなぎ、家族へのサポートなどの策を講じている。

**森下** 引きこもり問題は、小・中学生にも及ぶ問題であるが、学校における現状は。

**教育次長** 学校では30日以上欠席で不登校として対応しており、引きこもりの児童、生徒はいない。

**森下** 不登校にならないための学校における対応策は。

**教育長** スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーを配置して、学校、保護者も連携して対応する体制としている。



収集前のプラスチックごみ

# 町政を問う

## 次期総合計画の策定期間は

### 町長 新町長の任期になってから



細田 栄

# ガーデンプレイス・大山望の設置目的は

## 町長 交流、地域振興を目指す

**細田** 大山ガーデンプレイスの設置目的と事業参加者数、販売実績は。

**商工観光課長** 都市と農村の交流拠点。町内産品の販売施設。

平成30年度は事業参加者80人、青果物4,400万円である。

**細田** 大山望の設置目的と販売実績は。

**商工観光課長** 過疎対策事業で平成16年にオープンした、ふれあい交流ターミナルとして、農業振興と六次産業化を目指して開設された。

平成30年度は総売上、3億6千6百万円で、このうち肉の卸売りが1億9千6百万円、生産者登録数41人、その方の販売額3百80万円。

**細田** 大山望の雇用状況は、どうなっているか。

**商工観光課長** 平成30年度は従業員数17人、うち町内9人。

**細田** 大山ガーデンプレイスと大山望の設置目的は、当初同じようなものであったが、ガーデンプレイスは事業参加者の生産による販売が中心で野

菜等の仕入れ販売は行っていない。

一方大山望は、県外への売り先を開拓し、積極的に仕入れ販売を行っている。売り上げもガーデンプレイスの4・7倍である。今後二つの施設はどのような方向に向かおうとしているか。

**町長** 設置当初は同様な目的であったが指定管理者の努力により、大山望は外に打って出るため、販売先を開拓している。

ガーデンプレイスはリゾート地域の入口として、地場産品にこだわりの、寿司屋、ソフトクリームなどの姿が出来てきた。当面はそれぞれ特徴を持って続けたい。

### みぞくちテラソンの募集状況

**細田** 9月2日にオープンしたみぞくちテラソンの応募状況は。

**企画課長** ワーキング会員21人、テラソ会員95人計116人と多くの方に加入していただいた。

テラソ会員のうち町外からは3人加入、岸本のフィットネスパルからの移動は6人であった。

### 第3次総合計画の準備

**細田** 第2次伯耆町総合計画が来年度で満了となる。計画策定の時期と、住民アンケートの客体数を千人程度に増やさないか。

**町長** アンケートは来年度実施したい、かなりの客体数を持った本調査を実施し、住民ニーズを把握する。

並行して「地方創生」・「過疎計画」・「合併まちづくり計画」との調整や総合計画の肝になる「財政計画」が重要である。計画の策定期期については、町長の任期が令和3年までであり、議員も3カ月後に改選となるため、町長改選後に策定したい。



大山ガーデンプレイス



オープンしたみぞくちテラソ

# 町政を問う

## 上下水道料金の福祉減免制度創設を

**町長** 公営企業会計であり、特別減免考えていない。



幅田千富美

**上・下水道料金の福祉減免制度創設を**

**幅田** 実質賃金低下、農業等の赤字、年金、生活保護削減の続く中、消費税10%増税実施は、町民生活の困窮は火を見るより明らかだ。町民生活の実態を国に届けると同時にライフラインである上・下水道料金の福祉減免制度を創設し、町民の暮らしを守らないか。その対象者の現況は。

**担当課長**

- ①生活保護世帯33世帯
- ②障がい者手帳保持者765人
- ③要介護認定者801人の内、ベッド上ですぐずす人320人
- ④児童扶養手当受給者83世帯
- ⑤生活困窮高齢者は不明

## 学校給食のパンは安全な国産小麦で！

**教育長**

**輸入小麦も基準値以下で安全**

のため、介護保険料軽減者1,054人、後期高齢保険軽減者1,289人

**町長** 消費増税の影響はわかるが公営企業会計であり、特別減免は考えていない。水道審議会からそのような提案は上つてない。

**高齢者、障がい者等にタクシー料金の割引を**

**幅田** デマンドバスや外出支援サービスは好評だが、高齢化が一層進み、バス停までの歩行や荷物を持つてのバス乗下車も困難な人が増えている。この人達に玄関から目的地まで利用できるハイヤーの料金助成で在宅生活の支援をしないか。

**町長** デマンドバスの停車場を増やし、病院への

外出支援で対応している。今のレベルを落とさないのが優先。

**学校給食パンの原材料に国産小麦粉を**

**幅田** この四月、発ガン物質グリホサートが輸入小麦を原材料としている日本の食パンから、もなく検出され、衝撃を与えた。

しかし、国産小麦粉からは検出されていない。本町の学校給食の原材料はこのものか。

パン食は週何回か。米飯、米粉パンへの検討が必要ではないか。

**教育長** 学校給食会を通じて提供。アメリカ、カナダからの輸入小麦、基準値以下で安全。

月三回、年一回は県内産小麦。

全国での学校給食のパンを調べたら…

県	パンの種類	小麦粉の配合割合	残留濃度 ppm
A	コッペパン	輸入8割、国産2割	0.05
B	コッペパン	輸入のみ	0.04
C	ロールパン	国産のみ	検出せず

農民連食品分析センター調べ

国基準30ppm(改正前5ppm)以下であり数値は低い。

**幅田** グリホサート(除草剤)は急性毒性、発がん性、発達障がい、生殖系への影響等の研究報告のもと海外では厳しい規制の流れなのに日本政府は昨年12月、残留農薬基準最大400倍の大幅規制緩和をされた。危険性の高い農薬使用禁止、規制を国に求め、安全な食料はこの大地からの立場で農業振興を進めないか。

**町長** 昨年国会の委員会全会一致で農薬取締法の改正があった。

環境負荷の少ない、たい肥センター、景観形成の種子や栽培奨励支援など、個々農業者努力に対し支援している。東京オリンピックに向け安全志向強まると思う。

# 町政を問う

## 認知症対策「共生と予防」を掲げ新大綱が決定されたが

### 町長 総力で社会問題に取り組むという認識の広がり



永井 欣也

**認知症対策について**

**永井** 今年度の介護予防事業の進捗状況について伺う。

**健康対策課長** 住民健診で対象者を抽出。物忘れ相談会を10月に1回予定。認知症簡易検査、頸部血管超音波検査も実施。

認知症予防教室は短期集中型の本教室を11月から4ヶ月間、週1回1教室実施予定。フォロワー教



タッチパネルによる認知症簡易検査

## 「とっとり方式認知症予防プログラム」の効果検証は

### 健康対策課長

### 認知機能及び身体機能に向上がみられた

室（月2回）を5教室。同（月1回）を2教室実施。

**永井** 本町が鳥取県、鳥取大学医学部と連携して開発した「とっとり方式認知症予防プログラム」の効果検証と普及について伺う。

**健康対策課長** 平成29年9月～30年11月まで本町の高齢者136人に実施。鳥大医学部の分析で、認知症機能及び身体機能に向上がみられた。

鳥取県は今後、全県への普及を目指す。本町は昨年度から予防教室に本プログラムを取り入れている。

**永井** 去る6月18日、政府は新たに「認知症施策推進大綱」を決定し、「共生」とともに「予防」を2本柱の一つとし

て初めて目標に掲げた。この決定をどう受け止めたか。

**町長** 深刻さを増す社会問題をより現実的なものとして、総力をあげて取り組まなければならないという認識の広がりという結果。

国レベルの予防のためのエビデンス収集のワーキンググループが立ち上った。収集が進めばこれから予防の可能性が大いに期待される。



はつらつ教室（運動）

**永井** 子ども・学生の認知症に関する理解促進のための認知症サポーター養成や教育、情報発信の場としての図書館の活用などを伺う。

**教育長** 理解促進や情報発信は重要。本年は二部小学校で認知症サポーター養成講座を開催予定。岸本・溝口両図書館には認知症に関するコーナーが設置されている。各校図書館へのコーナー設置を図りたい。

**永井** 認知症予防に資する活動推進として、発症を遅らせる可能性が示唆されている次の項目への活用を伺う。  
①運動不足の改善や解消  
②フィットネススタジオ  
③生活習慣病の予防  
④食

生活改善推進委員  
③社会的孤立解消や役割の保持  
④森林空間のウォーキング  
④町民の森

**町長** 期待する機能、それぞれが持つ特性はその通り。皆さんに能動的に参加していただける活動的な地域を運営することがよい地域づくりにつながる。



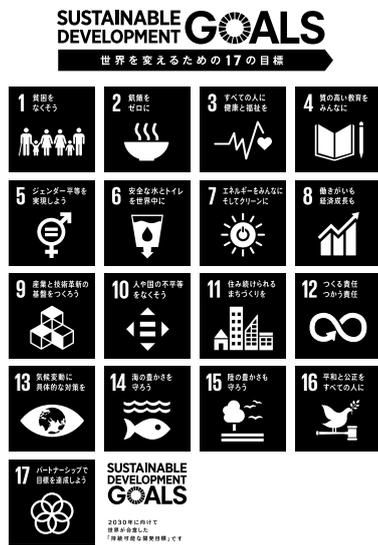
はつらつ教室（知的活動・CATV撮影中）

# 町政を問う

## 本町のSDGsに対する認識は

町長

### 今ある資源をどうやってより良い形で町民サービスに向けていくか



SDGs ゴール番号一覧

**杉本** 持続可能な開発目標「SDGs」に対する認識と、町として今後、どう取り入れていくのか。

**町長** 関心を持ってどうその意識を高めるのが、基礎自治体としてはまず一番大事。施策として表していくために何をしたらよいか考えるところがスタート。

日本で考えるSDGsの原点は「もったいない」だと思う。その感覚を持ちながら、今ある資源をどうやって



杉本 大介

より良い形で町民サービスに向けていくか。

**望まない受動喫煙を防止するための取り組み**

**杉本** 学校や病院、児童福祉施設、行政機関の庁舎等は原則敷地内禁煙で、「屋外で受動喫煙を防止するために必要な措置がとられた場所に、喫煙場所を設置することができない」とあるが、この「必要な措置」とは、また、町の管理施設の現状は。

## 望まない受動喫煙を防止するための取り組み

### 町長 基礎自治体としてどういう対応が本当によいのか、意識として持つ

**健康増進法一部改正の趣旨（主なもの）**

- 望まない受動喫煙をなくす。
- 受動喫煙による健康影響が大きい子供、患者等に特に配慮する。
- 施設の類型・場所ごとに対策を実施する。

**杉本** 電子タバコや加熱式タバコは改正法の規制対象となるか。

**総務課長** 喫煙場所が区画されていること、喫煙場所であるという標識が掲示されていること、その施設を利用する者が通常立ち入らない場所に設置することの3点。

小中学校、保育所では、敷地内禁煙。本庁舎・分庁舎では、特定屋外喫煙場所を設置。

その他の施設については、屋内禁煙としている状況。



電子タバコ、加熱式タバコ

**健康対策課長** 電子タバコは規制対象外。加熱式タバコは、発生した煙が他人の健康を損なう恐れがあることが明らかでないため、現時点で、当分の間は規制対象。

**杉本** 路上喫煙を禁止する条例が全国のいくつかの自治体で制定されている。本町にもこういう条例はなじむのか、町長の見解は。

**町長** 条例等を制定しているのは、人口密度が高く、歩行者が多数行きかうようなところがある都市部の自治体が多く、本

町には若干なじみにくいだろうと思った。屋外喫煙については、たとえばスパーマーケットや、コンビニエンスストアにも喫煙場所を設置してあり、受動喫煙のリスクというのはゼロではない。

ただ、民有地なので、条例として、権利や義務をどこまでかけるのか、非常に難しい問題。基礎自治体としてどういう対応が本当によいのか、意識として持つ。



改善センター裏に区画された喫煙場所

# 町政を問う

## 小学校5.6年生の「教科担任制」への取り組みに着手し、「教育の質の向上」を！

### 教育長 「教科担当制」の導入を検討していきたい



勝部 俊徳

### 教科担任制のメリットは

#### 教育次長 学力の向上が図られる

**勝部** 文科相が中央教育審議会総会へ諮問した教科担任制への議論への希望は。

**教育長** 一律な教科担任制の導入ではなく、学校の規模や児童の実態に応じた柔軟な方向での議論が進めばいいと考える。

**勝部** 「教科担任制」のメリット、デメリットは。

**教育次長** メリットは、学力の向上が図られること。



3年生外国語活動授業

と。また、課題としては、教員不足の状況下で、教員の確保に課題が残る。

**勝部** この制度は、教員の勤務時間の軽減などの働き方改革につながるのか。

**教育次長** 教員の勤務時間の軽減には直接的には結びつかない。

この制度は、複数回同じ授業をすると教材研究の時間が軽減されるとい

うメリットはある。

**勝部** 教科担任制への取り組み現状と課題等については。

**教育長** 英語をはじめ理科、音楽、家庭科などを校長会を通じて「小・中連携」の観点から担任制導入への推進を検討していきたい。

### 障がい者の町職員採用

**勝部** 本町の障がい者雇用率の現状の数値は。

**総務課長** 実雇用率は、2・18%である。

#### 計算式

$$\frac{3人(障がい者数)}{137.5人(算定基礎職員数)}$$

**勝部** 来年度の障がい者雇用数などを見通した数値予測は。

**総務課長** 本年度とほぼ同様の2・16%。

### 障がい者対象の町職員試験の仕切点は一般事務と差があるのか

#### 町長 基本的には同一。面接も重視

**勝部** 町職員採用試験の一般事務(障がい者対象)で、障がい等級が一般の人が採用される状況とは。

**総務課長** 地方公務員として必要な教養や適性等が認められ住民サービス業務が遂行できるとい判断ならば、障がいの程度にかかわらず採用する。

**勝部** 採用試験の仕切点(基準点)に「一般事務」との間で差はあるのか。

**町長** 基本的には、同一である。人物面での面接などの場面も重視。

**勝部** 障がい者雇用の拡大に短時間勤務の取り入れなどの方法も検討してはどうか。

**町長** 結論からすると可能性はある。

しかし、短時間勤務というカテゴリーを正職員化へということに関しては、担当の問題や課題があるものと認識している。



6年生図工の授業



添谷集落へ都会から移住

「やぎのいえ」



ヤギ農家女子がヤギのふれあいイベントや  
ミルク開発などで地域を盛り上げる

昨年4月に添谷集落へ移住をし、20匹のヤギたちを囲まれた幸せな生活を送る竹川奈緒さん(24)。若くして日光地区にきた東京生まれの彼女の想いに触れる。



竹川さん  
(ヤギ好きの彼氏募集中)

**質問** これまでの経緯は。  
**竹川さん** 東京に生まれ、静岡の動物園や、京都のヤギ牧場で勤めた経験が今に活かしています。ヤギ3匹と共に鳥取にやってきました。ヤギの「全部が好き」です。  
**質問** なぜ、添谷にいられたんですか。  
**竹川さん** 大阪の知り合いがこの近辺に別荘をお

持ちで、一緒に遊びに来ているうちにこの環境が気に入りました。日光地区集落支援員である井中さんに空き家を紹介してもらい、自分で改装をしながら住み始めました。ヤギたちが暮らす小屋も、村の元大工さんを中心に添谷集落の方と一緒に建てました。村のひとに支えてもらって日々暮らすことができている。集落の方の口癖は「逃さんように！」村の雰囲気が良いので、この地に根を生やして頑張



「ゴート(ヤギ) フェスティバル」

つていきたい。少しでも多くの方へこの発信ができるよう、ヤギを絡めたイベントを旧添谷分校で春に開催し、産まれた子ヤギの名前づけや、ヤギの魅力を知ってもらうために「ヤギ肉カレー」を食べたりして30人近く集まった祭りが開催できました。今後も地道に継続的にやっていきたいです。

**質問** 現在の活動や今後の展開は。  
**竹川さん** 現在は家の中にミルク加工室を整備しており、ヤギ乳は現在製品化にめがけて準備中。低温殺菌で加熱処理できる工房で、検査室で簡易的な基準や成分などを検査し、カルシウム分が高い低脂肪ミルクなどの研究を続けています。また、うちにいる血統付きのヤギは貴重で全国的にも珍しいです。えさ

やり、乳しぼりなど、ヤギと触れ合う体験イベントで各地へ呼ばれています。ゆうあいパル広場、大山望などで見かけたことがあるかも知れませんが、保育園、老人ホームなどもっといろんな場所へ呼んでいただき、ふれあい動物園的に楽しんでもらいたいです。



ミルク工房(加工室)

編集後記

令和元年10月より、消費税増税がスタートしました。私達の暮らしにさまざまな影響が予想されていますが、政府も過去の教訓を活かし、対策が始まっています。少子高齢化など身近な問題が山積している中で、私たちが伯耆町議会も今後さらなる努力を重ねてまいります。

さて、議会だよりも昨年からの写真を多く使用するなど、読みやすい誌面づくりに向けて試行錯誤しながら日々取り組んでいるところでございます。読者の皆さまからのご意見・ご感想などぜひお寄せください。

(乾 裕)

【編集】

議会広報常任委員会

委員長 長谷川 満

副委員長 乾 裕

委員 永井 欣也

委員 勝部 俊徳

委員 一橋 信介

委員 杉本 大介

「議会だより」に対するご意見をお待ちしております。

